



公益財団法人東京都歴史文化財団
アーツカウンシル東京
NPO 法人ダンスアーカイヴ構想

「舞踏の未来」を展望する実験的パフォーマンスの数々をオンライン配信

Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13

「TOKYO REAL UNDERGROUND」

第2弾プレスリリース

オンラインプログラムを発表！

「TOKYO REAL UNDERGROUND」は、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京が主催する Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13のひとつとして、NPO 法人ダンスアーカイヴ構想の企画運営のもとに開催される複合的なダンスフェスティバルです。東京の「地下（アンダーグラウンド）」と、舞踏をはじめとする

かつての「アンガラ」カルチャーに注目し、2021年4月から8月まで約5ヶ月にわたって、オンライン配信プログラム「TRU オンライン」と4月1日より展示プログラム「TRU エキシビション」を展開しています。

この度「TRU オンライン」の詳細ラインナップが決定しましたので、お知らせいたします。



TRU オンラインの3つの特徴

- ・ 川口隆夫ディレクション「舞踏 ある視点」

多ジャンルの作家が「舞踏とは」を多面的に見せる作品を発表

- ・ 上野・池之端に配信拠点「BUTOH スナック」開設

アーティストトークを生配信し、オンラインフェスティバルならではの「ライブ感」を創出

- ・ 東京の地下空間で展開

京成電鉄旧博物館動物園駅、渋谷川暗渠が身体表現の場に変貌する

配信期間 2021年4月24日（土）～8月15日（日）

配信開始日より8月15日までいつでも視聴可能。

※「BUTOH スナック」は、配信翌日18:00まで視聴可（英語字幕等をつけて後日再配信を予定）。

視聴方法 公式WEBサイトからご登録いただくと、視聴URLがメールで届きます。

メールアドレスの登録のみで、全てのオンラインプログラムを無料でご覧いただけます。

参加登録：<http://www.tokyorealunderground.net/ticket.html>

4月1日より公開中の「TRU エキシビション」のラインナップについては、2021年3月22日付のプレスリリースをご覧ください。

<http://www.tokyorealunderground.net/pdf/TRUpres210322.pdf>

また今後、7月以降に開催されるプログラムを発表予定です。

1 | パフォーマンス作品

川口隆夫ディレクション企画「舞踏 ある視点」

1960年代の日本で始まった舞踏は、国境やジャンルを超えて、様々なアーティストに影響を与えてきました。本シリーズでは、『大野一雄について』で舞踏の世界に大胆に切り込んでいったパフォーマー川口隆夫が、この芸術様式のアヴァンギャルドな実験精神を引き継ぐアーティストたちに新作を委嘱。ダンス・演劇・音楽・映像・美術とジャンルを横断するパフォーマンスの数々を通じて、「舞踏」の姿を浮かび上がらせると同時に、その周囲に広がる豊かな創造と未来を見つめることを試みます。

撮影は、京成電鉄株式会社の駅舎として1930年代に作られ、「東京都選定歴史的建造物」にも選定されている歴史ある地下空間、旧博物館動物園駅を舞台に展開します。

協力：京成電鉄株式会社

①小林勇輝『Ice Cream Torch Ceremony』 **World Premiere**

5/8(土) 19:30配信開始

スポーツ競技大会の権威的な枠組みに対して批評的にアプローチする小林勇輝のプロジェクト「Life of Athletics」の最新作。1981年公開の映画『炎のランナー』の曲を象徴的に用いて、アマチュアリズムと商業化の矛盾や性差別など、スポーツ界が孕む問題に切り込んでいきます。



Ice Cream Torch Relay

②川口隆夫『ミノタウロ・ディスコ』 **World Premiere**

5/15(土) 19:30配信開始

大野一雄『ラ・アルヘンチーナ頌』初演の舞台監督を務め、その後舞踏を歩み続けてきた老獪・吉本大輔と、隔世遺伝的に舞踏に触発されたコンテンポラリーダンサー・酒井直之の出会いを、川口隆夫が演出します。

出演：吉本大輔、酒井直之 映像撮影・編集：鈴木章浩



撮影：Rokka Ando

③佐藤ベチカ『花よ蝶よ』 **World Premiere**

6/5(土) 19:30配信開始

身体を常に「モノ」との関わりの中に置いてきた佐藤ベチカの最新独舞。2020年に上野恩賜公園にて撮影した「地上編～大噴水～」に続き、今回は「地下編～地下遊園～」を上演。水をたたえた水槽を抱えて地上の世界と地下の世界を循環し、上と下、内と外の変容させていきます。

音：望月隼人



「花よ蝶よ」地上編～上野公園大噴水～

④伊藤キム+東京令和アングラダンサーズ

『この世は儚い地下の楽園』 **World Premiere**

6/12(土) 19:30配信開始

舞踏家・古川あんに学び、日本のコンテンポラリーダンスを牽引してきた伊藤キムが、サックスの梅津和時と11名のダンサーとともに狂喜乱舞。1970～80年代のアングラ的要素をふんだんに取り入れた荒唐無稽なパフォーマンスを繰り広げます。

出演：AYUMI、伊豆牧子、伊藤奨、甲斐美奈寿、KEKE、篠原健、鈴木しゅう、JUNKO、根本和歌菜、MAHA、吉田聖菜、伊藤キム

演奏家：梅津和時



撮影：Masabumi Kimura

⑤生西康典『棒ダチ 私だけが長生きするように』

World Premiere

6/13(日) 19:30配信開始

音や空間に注目した独自の演出で知られる生西康典が、土方巽のテキストを演劇作品化。「病める舞姫」と「慈悲心鳥がバサバサと骨の羽を拡げてくる」の言葉が声となり、演者の身体を通して、地下空間に響き渡ります。

出演：橋本清(ブルーノプロデュース、y/n)、富田学 照明・美術：小駒豪



撮影：Mio Ishida

⑥田辺知美『OWAN』 **New Adaptation**

6/19(土) 19:30配信開始

土方巽に会い、神領國資と大森政秀に師事した舞踏家・田辺知美。空気を震わせるような微細な動きをカメラがクローズアップで捉え、増幅し、映像ならではの「凝視」の体験を作り出します。



撮影：Koichi Tamauchi

⑦リヴァー・リン『具体美術宣言と踊る』(仮) **Japan Premiere**

配信日は後日公式WEBサイトに発表

具体美術協会と舞踏——時代をともにしながら交わることのなかった2つの芸術潮流の歴史に創造的に斬り込んでいくリヴァー・リンの最新作を、Taiwan Contemporary Culture Labと共同制作。コロナ禍により来日が叶わないため、5分間の特別パフォーマンスとトークを台北よりライブ配信。あわせて2020年の台北公演のダイジェスト映像をお届けします。

共同制作：Taiwan Contemporary Culture Lab



Dancing with Gutai Art Manifesto 1956 (2020)

飯名尚人+川口隆夫+川村美紀子+松岡大『三』 **World Premiere**

5/22(土) 19:30配信開始

土方巽、大野一雄、大野慶人——この3人の運命的な出会いが舞踏の着火点となりました。川村美紀子が土方巽の『疱瘡譚』、川口隆夫が大野一雄の『ラ・アルヘンチーナ頌』、松岡大が大野慶人の『土方三章』を厳密に再現。3Dホログラムディスプレイと3台のモニター、そして「舞踏出来事ロジー」のイラスト約50点を展示した旧博物館動物園駅の駅舎内で、オムニバス形式でパフォーマンスします。踊りのアーカイヴの可能性を多面的に探る複合的なプログラムです。

構成：飯名尚人

出演：川口隆夫、川村美紀子、松岡大



撮影：naoto ina, Naohiro Yoshida, Eri Kawamura

オンラインシンポジウム「舞踏ディアスポラ」

5/23(日) 22:00配信開始

世界各地に根を張って地道に舞踏活動を続けてきた日本人アーティストが結集し、世界のBUTOHの現在について語り合うオンラインシンポジウム。ドイツのゲッティンゲンから遠藤公義、ベルリンからカセキユウコ、アメリカのロサンゼルスからOguri、イタリアのトスカーナから竹ノ内淳志、ブラジルのサンパウロから田中トシ、そしてオーストラリアのメルボルンからは、ゆみうみうまれ。

文化背景の異なる人々がBUTOHをどのように受け止めているのか、現場からの声を聞く貴重な機会となります。

登壇：遠藤公義、Oguri、カセキユウコ、竹之内淳志、田中トシ、ゆみうみうまれ(50音順) 司会：松岡大



発表済プログラム 発表済プログラムにつき、詳細については2021年3月22日付のプレスリリースをご覧ください。

<http://www.tokyorealunderground.net/pdf/TRUpres210322.pdf>

・尾竹永子ソロプロジェクト「A Body in Places」※作品タイトルが変更になりました。

4/24(土) 19:30配信開始 『福島を運ぶ』+『福島に行く』

4/25(日) 19:30配信開始 『福島を映す』

・川口隆夫『大野一雄について』 6/27(日) 19:30配信開始



撮影：Tatsuhiko Nakagawa



撮影：Dajana Lothert

2 | アーティストトーク「BUTOH スナック」※一般公開収録ではないため、現地ではご覧いただけません。

上野・池之端のスナック店舗跡に配信拠点「BUTOH スナック」を開設。パフォーマンス作品の初回公開に合わせて、アーティストトークをライブストリーミングします。

また、4月1日より公開中の展示を取り上げる「TRU エキシビジョン編」、英語／中国語でお届けする「世界編」も配信。バラエティに富んだ演出と複数の切り口で、オンラインフェスティバルの可能性を探ります。

収録配信は、ダンサーとミュージシャンによるライブセッションを体験するウォーキング形式のパフォーマンスイベント「LAND FES」を手掛けてきたNPO法人LAND FESが行います。

協力：アーツアンドスナック運動実行委員会、きもの池之端藤井、東京文化資源会議



BUTOH スナック (アーティストトーク)

作品の公開初日に、アーティストトークを生配信。パフォーマンス作品を見た後に、コンセプトや創作プロセス、舞踏との関係について聞いていきます。「かずこナイト」の回は、アーティスティック・ディレクターの川口隆夫がスナック店主に扮して、出演アーティストと対談します。



BUTOH スナック TRU エキシビジョン編 (トーク+舞踏家展示)

トークゲストに専門家やアーティストを招き、「TRU エキシビジョン」の各作品の背景や見どころ、知ればさらに楽しめるポイントなどを紹介していきます。その横で、日本を代表する舞踏家がまるで彫刻のように佇み、微細に動く「舞踏家展示」を行います。舞踏が作り出す空気感の中でトークが進行する、新しいタイプのイベントです。



BUTOH スナック 世界編 (多言語でトーク)

TRUの魅力を英語／中国語で発信。上野・池之端の藤井呉服店前より、街の風情を楽しみながら和やかな雰囲気でお届けします。各国の視聴者に直接語りかけるための国際プログラムです。(日本語での配信はありません)

3 | TRU オンライン 配信スケジュール

2021年4月24日から6月末まで、毎週末新規プログラムを公開します。

(～8/15) 配信開始日から8月15日まで、いつでも視聴可能です。

(～翌18時) 配信開始日の翌日18時までの限定配信です。

LIVE 上野・池之端の配信拠点「BUTOH スナック」から、トークを生配信します。
パフォーマンス作品と同日配信する際は、パフォーマンスの後にトークが流れます。

	PERFORMANCE (配信日～8/15まで視聴可能)	TALK
4/24sat. 19:30-	約30分 ※作品タイトルが変更になりました 尾竹永子『福島を運ぶ』 + 『福島に行く』	インタビュー映像 (～8/15) 約30分 ゲスト: 尾竹永子、川口隆夫
4/25sun. 19:30-	約30分 ※作品タイトルが変更になりました 尾竹永子『福島を映す』	インタビュー映像 (～8/15) 約30分 ゲスト: 尾竹永子、溝端俊夫、松岡大
5/1sat. 9:00-		BUTOH スナック 世界編 (～翌18時) 約45分 LIVE BUTOH Sunakku Talk in English: 尾竹永子『福島を映す』について ゲスト: Dr. Joseph Gashō Amato, Greg Dovorak, Mai Honda 
5/2sun. 19:30-		BUTOH スナック TRU エキシビジョン編 (～翌18時) 約70分 LIVE オンライン年表「舞踏出来事ロジ」 ゲスト: 乗越たかお、石原葉、溝端俊夫、飯名尚人、今貂子 
5/8sat. 19:30-	「舞踏 ある視点」シリーズ① 約15分 小林勇輝『Ice Cream Torch Ceremony』	BUTOH スナック第1夜/かずこナイト (～翌18時) 約45分 LIVE ゲスト: 小林勇輝 店主: 川口隆夫 
5/9sun. 19:30-		BUTOH スナック TRU エキシビジョン編 (～翌18時) 約70分 LIVE ウィリアム・クライン写真展 「GINZA 1961 街が主役の写真展」+ 街歩き型 AR「ダンス・ハプニング・トゥデイ」 ゲスト: 光田由里、溝端俊夫、飯名尚人、ビショップ 山田 
5/15sat. 19:30-	「舞踏 ある視点」シリーズ② 約40分 川口隆夫『ミノタウロ・ディスコ』	BUTOH スナック第2夜 (～翌18時) 約45分 LIVE ゲスト: 吉本大輔、鈴木章浩、川口隆夫
5/16sun. 20:30-		BUTOH スナック 世界編 (～翌18時) 約45分 LIVE BUTOH Sunakku Talk in Chinese: 川口隆夫『ミノタウロ・ディスコ』について ゲスト: 張穎、他 
5/22sat. 19:30-	約40分 飯名尚人+川口隆夫+川村美紀子+松岡大『三』	BUTOH スナック第3夜 (～翌18時) 約45分 LIVE ゲスト: 飯名尚人、川口隆夫、川村美紀子、松岡大
5/23sun. 22:00-		シンポジウム (～8/15) 約90分 LIVE オンラインシンポジウム「舞踏ディアスポラ」 ゲスト: 遠藤公義、Oguri、カセキユウコ、竹之内淳志、田中トシ、ゆみうみうまれ、松岡大
6/5sat. 19:30-	「舞踏 ある視点」シリーズ③ 約40分 佐藤ベチカ『花よ蝶よ』	BUTOH スナック第4夜/かずこナイト (～翌18時) 約45分 LIVE ゲスト: 佐藤ベチカ 店主: 川口隆夫 
6/12sat. 19:30-	「舞踏 ある視点」シリーズ④ 約60分 伊藤キム+東京令和アングラダンサーズ 『この世は儚い地下の楽園』	BUTOH スナック第5夜 (～翌18時) 約45分 LIVE ゲスト: 伊藤キム、松岡大、他
6/13sun. 19:30-	「舞踏 ある視点」シリーズ⑤ 約50分 生西康典『棒ダチ 私だけが長生きするように』	BUTOH スナック第6夜 (～翌18時) 約45分 LIVE ゲスト: 生西康典、橋本清、富田学、松岡大
6/19sat. 19:30-	「舞踏 ある視点」シリーズ⑥ 約40分 田辺知美『OWAN』	BUTOH スナック第7夜/かずこナイト (～翌18時) 約45分 LIVE ゲスト: 田辺知美 店主: 川口隆夫 
6/27sun. 19:30-	約120分 川口隆夫『大野一雄について』	BUTOH スナック第8夜 (～翌18時) 約45分 LIVE ゲスト: 川口隆夫、他
配信日 後日発表	リヴァー・リン『具体美術宣言と踊る』(仮)	

※作品時間および内容は、変更になる可能性があります。予めご了承ください。

4 | 開催概要

Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13 「TOKYO REAL UNDERGROUND」

会期： 2021年4月1日（木）～8月15日（日）
会場： オンラインおよび都内複数カ所
料金： 無料（オンラインプログラムは登録制）
参加登録： <http://www.tokyorealunderground.net/ticket.html>

参加アーティスト： 飯名尚人、生西康典、伊藤キム、遠藤公義、Oguri、尾竹永子、カセキユウコ、川口隆夫、川村美紀子、ウィリアム・クライン、小林勇輝、酒井直之、佐藤ベチカ、竹之内淳志、田中トシ、田辺知美、HAUS、松岡大、ゆみうみうまれ、吉本大輔、リヴァー・リン、他（50音順）

キュレトリアル・チーム
アーティストック・ディレクター： 川口隆夫（パフォーマー）
キュレーター： 飯名尚人（映像作家・演出家・Dance and Media Japan代表）
 松岡大（舞踏家・LAND FES代表）
プロデューサー： 溝端俊夫（NPO 法人ダンスアーカイヴ構想 理事長）

スタッフ
 [事務局長] 呉宮百合香 [制作補佐] 本田舞 [広報] 西山裕子（ダンス プレストウキョウ）
 [テクニカル] 呂師（砂組）、森規幸（balance, inc. DESIGN）、河内崇、國府田典明、吉田尚弘
 [撮影配信] NPO 法人 LAND FES [編集] 原田環、中山真理（カワイイファクトリー）
 [グラフィックデザイン] 北風総貴（ヤング荘） [WEB デザイン] 松岡未来（ヤング荘）
 [翻訳] 本田舞、チャン・イン、李裁仁 [記録写真] 中川達彦、和田翼

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
 企画運営：NPO 法人ダンスアーカイヴ構想



協賛：BNP パリバ・グループ

協力：大野一雄舞踏研究所、NPO 法人舞踏創造資源、慶應義塾大学アート・センター、FILMS PARIS NEW YORK、Dance and Media Japan、NPO 法人 LAND FES、株式会社鈴木事務所、株式会社 HAUS、株式会社佐々木設計事務所、有限会社かんだ、京成電鉄株式会社、首都高速道路株式会社、アーツアンドスナック運動 実行委員会、きもの池之端藤井、東京文化資源会議、公益財団法人セゾン文化財団、Taiwan Contemporary Culture Lab、ソニーマーケティング株式会社、一般財団法人セガサミー文化芸術財団
 広報協力：ダンス プレストウキョウ

公式 WEB サイト：<http://www.tokyorealunderground.net/>
 Facebook：@DanceArchiveNetwork / Twitter：@dance_archive / Instagram：@dancearchivenetwork

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により、プログラム内容に変更が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

舞踏／BUTOHとは

戦後日本で生まれた前衛的身体表現。1920年代のドイツ・モダンダンスにその源流を持ちながら、西洋の舞踊概念を打ち破る独自の境地を切り開きました。土方巽『禁色』（1959）が最初の作品とされます。70年代後半より「BUTOH」の名で世界中に広まり、現在では世界各地で舞踏フェスティバルが開催されているほか、学校教育の授業や教科書でも取り上げられています。

NPO 法人ダンスアーカイヴ構想とは

NPO 法人ダンスアーカイヴ構想は、大野一雄・大野慶人アーカイヴの芸術資産とノウハウを核に、横断的なダンスアーカイヴの意義の周知と国際ネットワークの構築を推進する団体です。舞踊文化の継承と振興に寄与することを目指し、資料の収集保存に加え、それらを活用した作品制作も企画します。また3D技術による新たなアーカイヴ手法の開発に取り組んでいます。
 公式 WEB サイト：<http://www.dance-archive.net/>

「Tokyo Tokyo FESTIVAL」とは

オリンピック・パラリンピックが開催される東京を文化の面から盛り上げるため、多彩な文化プログラムを展開し、芸術文化都市東京の魅力を伝える取組です。

「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13」とは

斬新で独創的な企画や、より多くの人々が参加できる企画を幅広く募り、Tokyo Tokyo FESTIVAL の中核を彩る事業として、東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京が実施するものです。国内外から応募のあった2,436件から選定した13の企画を、「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13」と総称し、展開しています。

公式 WEB サイト：<https://ttf-koubo.jp/>

お問い合わせ先 | NPO 法人ダンスアーカイヴ構想（担当：西山、呉宮）

メール：press@tokyorealunderground.net

TEL：03-3582-9273 / FAX：03-3582-9275

